

リビング便り



「人生の先輩のために」をモットーに



特集

介護人材教育に向けた取り組み

今月の表紙より

介護業界における
人材育成に貢献

今月6日、リビンングケア顧問・回復プログラム監修者である理学療法士の大工谷新一先生の特別講義が東京八王子の「日本工学院八王子専門学校 スポーツカレッジ」にて行われました。この講義はこれから理学療法士やアスレチックトレーナー、介護職を目指す学生さんたちに向けて就職後の進路について考えてもらうため、大工谷先生の豊富な現場経験や調査研究のお話しをしていただきました。大教室で行われた講義には約120人の学生が出席し、大工谷先生の特別講義に熱心に耳を傾けました。

本紙面に続く

i. 資格を取ることの重み

通勤途中に多くの命を助けた理学療法士の責任とは？



友人の理学療法士がここ2ヶ月の間で通勤途中に見ず知らずの6人にAED処置を実施。理由は、「健康運動実践指導者、日赤救急員等の資格を持っている人は、自分のそばで体調が急変した人が出たりした場合はその場を立ち去れない。なぜなら、その人の命に別状があった場合、適切な処置を行わなかったと訴えられる恐れがある。」このため、友人は

通勤途中AED処置をせざるを得なかった。「資格を取るということは、武器にもなるが、同時に大きな責任が伴う。」「公的、国家資格を持つことは社会的責任も担うことになる。」ことを自覚して欲しい。

ii. 利用者・対象者・顧客のニーズを知る

高級スポーツクラブで有資格者トレーナーに指導依頼ゼロだった訳は？



大阪岸和田市で、自らが運営に携わった高級スポーツクラブでの出来事。アメリカの権威ある運動指導資格であるATCを取得したトレーナーに利用者からの指導依頼が全くなかったのはなぜか？大工谷先生がこのトレーナーに「利用者はこのスポーツクラブに何をしに来ていると思うか？」と確認した所、即座に「筋力・運動能力を高めに来ています。」という答があった。そのトレーナーは利用者の名前すら知らずにいたことが判明。利用者は、運動能力向上だけのために来ているのではなくニーズは利用者によって異なることを理解できていなかった。

男女ではこんなに違う？！目的と反応



自身による調査・研究からスポーツクラブや健康増進施設においても利用者の性別、継続期間によって異なってくる。一般的に男性は、筋力アップや健康増進のために使用するが、女性は友達づくりなどのコミュニケーションを重視する傾向がある。

これは高齢者のデイサービスでも同じことで、男性の利用者が高い関心を示すのが反応がギャンブル性のあるもの。パットゴルフやボーリングなどの競争が働くものには積極的に参加する。反面、女性の利用者は競争には見向きもせず皆で一緒に楽しめるもの、仲良くやりましょうに反応する傾向がある。介護においても男女のニーズの違いは明確にあって、これを知ることが質の高いケアを提供するためには欠かせない。

街の小さな洋品店はなぜ潰れないのか？

ファストファッション店、街の小さな衣料品店、デパートの衣料品売り場などでは、利用者の来店動機やニーズは全く異なる。ファストファッション店では、安く早く衣料品を選びたいという意向が強いのにに対して、街の衣料品店やデパートでは、単なる購入だけでなく、店の人との会話やコミュニケーションが重視されている。さらに写真のような小さな洋品店は顧客の家族構成から過去の購入歴に至るまでの細かな情報を持つことでタイムリーに「痒いところに手が届く」適切な対応で顧客をつかんで離さない。



岸和田のスポーツクラブでの話、街の洋品店がなぜ潰れないのか、男女比較の調査結果からも、利用者のニーズをくみ取って適切なサービスを行うことが顧客の満足につながるということが明らかだと言える。

iii. キャリアアップの大切さを知ること

どのように夢を叶えるのか？

「この学校に来たくて来た人、そうでない人などいろいろいると思う。そして、今、社会に出てからの夢もあると思う。しかし、社会に出てからは“したいこと”ではなく仕事をすれば“やらなければいけないこと”がある。このやらなければならないことを日々、ちゃんとこなし目の前にある壁をあがっていくことを続けていけば、壁を登り切った上に違う景色がみえる。それが最終的には夢の実現につながっていく。よく私も目標はなんですかと聞かれることがあるが、目の前にあった壁を登り続けただけです。」というお話をされ、目の前にあるハードルを根気強く乗り越えていけば、最後は自分の夢などの自己実現につながることができる。「運動をキーワードに社会貢献できるようになって下さい。」

セミナーを終えて

即戦力となるような人材育成の協力

今回、大工谷顧問が特別講義をさせて頂いた日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジの学生の皆さんからは、「資格は技術の証だけでなく同時に責任も負うことになる。今後社旗に出るにあたり非常に重要なことを教えて頂いた」というお声を頂くことができました。リビングケアでは、介護業界の人材育成などに貢献できる取り組みを今後も引き続き行っていきたいと考えております。受講頂きました学生の皆さん日本工学院八王子専門学校教職員の皆様に改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

これまでの講義実績：

6月「介護業界の現状と展望」 7月「介護業界の職種と実務」

9月「事業の仕組・介護保険の仕組」 10月、11月実務担当者から現場の現実とやりがい

唯の家野中は看護師2名が在籍する医療対応型施設です。施設長を中心にきめ細かい個別ケアを独自で実践し質の高い介護を提供しています。

唯の家野中では、ご利用者様とクリスマスを迎える準備をしています。何でも手作りしてしまう施設長の横田さんを中心に、スタッフ一同様々なアイデアと知恵を絞り共に楽しく過ごしていただける環境を作っています。この日も手作りのすごろくレクで笑顔のご利用者様たちを写真に収めることができました。リビングケアではこうした利用者様とのふれあいを通じて真心の介護を目指しております。

また、唯の家野中の施設はいつも掃除が行き届き、ご利用者様が過ごしやすいよう整理整頓されています。ご家族様、ご利用者様がいつでも安心でき、安全な環境をご提供できるようスタッフひとりひとりが心がけております。



24時間見守り体制のベッドを設置

編集後記・予告

次号では、リビングケアが行っている研修・教育について取り上げます。スタッフの知識や技術の向上、ケア品質の更なる充実を目指して行っている取り組みについてご紹介させて頂く予定です。来年1月12日には日本工学院八王子専門学校にて桑原社長によるトップセミナーを予定しております。ご興味のある方は、是非、以下のリビングケア運営部にお問い合わせください。

年の瀬も押し迫り、あと10日ほどで今年も終わりです。今年1年間お世話になりました皆様に御礼申し上げますと共に良い新年をお迎え下さい。

発行：株式会社リビングケア 運営部 広報
URL：<http://www.livingcare.jp>


横浜市西区北幸2-8-19横浜西口Kビル7階
TEL：045-620-2006 FAX：045-620-2032

入居のご相談・お問い合わせは

▶▶▶ **入居相談室**まで

受付時間 / 平日(月～金曜) 9:00～18:00

神奈川県下唯一の介護事業での経営革新認定企業

 **0120-252031**